

委員會成立

本委員ハ大正十二年三月五日議長ノ指名ヲ以テ左ノ通リ選定セラレタリ

- 木下成太郎君 山本悌二郎君 山田 永俊君
戸水 寛人君 吉良 元夫君 荒川 五郎君
佐久間啓莊君 小橋藻三衛君 有森 新吉君
同月六日午前十時十分委員長理事互選ノ爲委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

- 木下成太郎君 山本悌二郎君 山田 永俊君
吉良 元夫君 佐久間啓莊君 有森 新吉君

○有森投票管理者ハ委員長及理事ノ互選ヲ行フヘキ旨ヲ宣告ス

○山本委員ハ投票ヲ用井ス木下成太郎君ヲ委員長ニ吉良元夫君ヲ理事ニ推薦ス(シト)意見ヲ提出ス

○有森投票管理者ハ山本君ノ意見ニ異議ナキヲ認メ木下成太郎君ハ委員長ニ吉良元夫君ハ理事ニ當選シタル旨ヲ述ヘ審査ノ都合ニヨリ午後會議ヲ開クヘキ旨ヲ宣告ス

會議

同日午後二時四十分開議

出席國務大臣左ノ如シ

- 文部大臣 鎌田 榮吉君

出席政府委員左ノ如シ

- 大藏省主計局長 田 昌君
文部次官 赤司鷹一郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

漢學振興ニ關スル建議案(木下成太郎君外十八名提出)

○木下委員長 ソレデハ開會ヲ致シマス、出席ノ委員ハ山本悌二郎君、山田永俊君、戸水寛人君、吉良元夫君、荒川五郎君、佐久間啓莊君、有森新吉君デアリマス、ソレデハ漢學振興ニ關スル建議案ノ委員會ヲ開クノデアリマスガ、一通リ私カラ一寸經過ダケ申上ゲテ置キマスルガ、此問題ハ御承知ノ通り大正十年、十一年、即チ第四十四議會、第四十五議會ノ兩度、立法部ハ決議ヲ致シマシタ、其決議モ政黨派ヲ超越シタル問題トシテ取扱テ、衆議院ハ全

會一致ヲ以テ決議ヲシ、政府ニ其問題ヲ迫ラタノデアリマス、國民ノ代表機關デアル衆議院ガ、全會一致ヲ以テ政府ニ建議ヲ致シタト云フコトハ、近年ノ問題ト致シマシテハ是ヨリ重大ナル問題ガ無イヤウデアリマスルシ、又全會一致ヲ以テ決議セラレタト云フコトハ、即チ國民ガ東洋古典ノ研究ヲスル必要ガアル、ソレハ此古典ノ中ニ含蓄シテ居ル所ノ、雄大ナル所ノ思想ト云フモノ、之ヲ能ク討究スルノニハ、漢學ヲ措イテ他ニ途ガナイ、サウシテ一面ニ西洋科學ノ精緻ナル智識ト云フモノモ用ヒ、ソレヲ經緯トシ錯綜シテ、能ク調和融合ヲ致シマシテ、内ハ天壤無窮ノ實事ヲ擁護シ、一面ニ於テ國民思想ノ健全ナル發達ヲ遂ゲシメタイ、外ニ向テハ東洋文明、太和保合ノ精神ト云フモノ、ソレヲ發揮シテ世界ノ文化ニ向テ貢獻ヲシタイト云フノガ、是ガ大眼目デアアルデアリマス、故ニ先ツソレ等ノ事ヲ研究ヲ致スト云フコトニ付キマシテハ漢文學、即チ日本語デアリマスルガ、唯モ漢字ト云フコトニナラズ居ル爲ニ、何等カ斯ウ支那ノ事ニナラヤウナ嫌ガアリマスルガ、其實御案内ノ通りニ、古事記、日本紀等有ユル書物、我國ニアリマスル所ノ古キ物、又現代ニ於キマシテハ、勅語其他ノモノモ皆漢文字デアアルデアリマス、其文字ノ中ニ存在シテ居リマスル深キ々々此思想ト云フモノヲ言現ハシ得ルモノハ、漢字ヨリナイデアリマス、而シテソレカラ洵治セラレタ所ノ我が國民性ト云フモノハドウ云フモノデアアルカ、我が國民ノ思想ト云フモノハドウ云フモノデアアルカト云ヒマスルト云フト、世界ニ於テ我國位深ク且ツ高い、與行ノ知レナイ、其高サノ知レナイ思想ヲ持テ居ルモノハ、大和民族ヲ措イテ外ニハ無イト信ジテ居ルデアリマス、デンレガ近年漢籍ガ廢シ、隨テ碩儒鴻學ノ士ガ凋落シテ參リマシタノミナラズ、一面ニ於テ近代思想ノ惡シキ考ニ依テ、漢文學ヲ以テ頗ル陳套ノ學問ノ如ク見ラレテ、此上カラシテ此事ガ稍、衰頽シテ參ル傾向ガアルノミナラズ、一面歐羅巴方面ノ學者社會ニ於テモ、今ヤ東洋文明ト云フモノニ付テ、研究ヲセンケレバナラヌト云フ必要ヲ見出シテ、我國ニ其調査ニ來リ何カシテ居ル人モアルヤウデアリマスルガ、悲シイ哉、我國ニハ今ヤ之ヲ説明シ、而シテ深キ事ヲ言現スベキ所ノ人ガ年々無クナラシテ參シ、況ヤ國法學ヲ調ベテ見マシテモ、國體ノ上ニ於テ我が帝國位立派ナ國體ガ無イ、隨テ國法學ノ大部分ノ頁ハ我が日本帝國ノ國體ヲ言現ハシ、若クハ說キ現ハシタモノヲ以テ書カレテ居ナケレバナラヌト云フト、一

頁ニモ足リヌト云フヤウナ都合デアアル、サウシテ我國ノ光輝ヲ發揚シヤウトカ、或ハ皇威ヲ發揚シヤウトカ云フヤウナコトヲ申述ベテ見マシタ所ガ、ソレ等ノ事スラモ出來テ居ナイヤウナ都合デアリマスルカラ、是デハ日本國ヲ誤ルモノデアアル、ドウシテモ我國ノ所謂正義、人道、平和ト云フモノハ、彼等ノ唱ヘテ居ルモノトハ非常ニ違フデアアル、眞ノ正義、人道、平和デアアル、ソレ等ノ事ヲ宣傳シ、又彼等ヲシテ教ヘシメ、我が國體ヲ闡明スルト云フノハ、此方面ノ方カラ行カンケレバナルマイ、ドウシテモ古典研究ト云フモノガ必要デアラウト云フ上カラシテ、幾歳月ヲ經マシテ今日ノ經過ヲ辿リ、立法部ハ一回モ全會一致ヲ以テ決議ヲ致シタト云フ都合デアリマス、左様ドウゾ御承知ヲ下サイマシテ、當局者ト質疑下サランコトヲ希望致シマス、且ツ附加ヘテ申上ゲテ置キマスルガ、幸ニ現内閣ノ文部大臣及次官ニ於キマシテハ、吾々ノ主張致シマスル所ヲ大ニ諒解下サレマシテ、前二回ニ於ケル建議案ノ趣意モ今ヤ曙光ヲ認ムベキ時機ニ到達シタヤウニ思ハレルノデ、是ヨリ之ヲ具體化セシメントスルニ付キマシテハ、一段ノ意思ノ疏通モ圖リ、隨テ質疑應答モ重ネナケレバナラヌト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○佐久間委員 本建議案ノ經過趣旨ニ至リマシテハ、只今委員長ヨリ詳細ナル御報告デ能ク分テ居リマス、尙ホ當局ニ於テモ頗ル諒トシテ此案ニ向ハレツ、アルヤウニ承タノデスガ、幸ヒ大臣ノ御臨席ヲ辱ウシテ居リマスカラ、大臣ノ本案ニ對スル御意見ヲ承知シテ置キタイト思ヒマス

○鎌田國務大臣 本案ニ付キマシテハ政府ハ贊成ノ意ヲ表スルモノデアリマス、其理由ハ、此古典ヲ保存スルト云フコトハ甚ダ大切ナ事デ、殊ニ國民ノ思想涵養ノ上ニ於キマシテモ忽ニスベカラザル事デアアル、斯様ニ考ヘテ居リマス、而シテ此千有餘年ノ間、我が國民思想ノ中ニ織込マレタル所ノ支那ノ學問ノミナラズ其外東洋ノ哲學、文學ト云フモノノ中ニ於テハ、最も重要ナル要素ヲ我が國民思想ノ中ニ形造テ居リマス、其由テ來ル所ヲ研究シ、又尙ホソレヲ以テ將來益、國民ノ思想ヲ涵養シテ行クト申スコトハ、非常ニ大切ナ事デアリマス、勿論東西何レニ偏スルト云フ譯ニハイキマセズ、又西洋ノ思想ハ云々、東洋ノ思想ハ云々ト云フ、之ヲ判然ト區別シテ、是ハ東洋流、是ハ西洋流ト區別スルコトハ餘程困難ナ話デアリマス、併ナガラ自ラ其間ニ相異ナル所ガアリマス、甲ハ非常ニ分解的ノ方ニ緻密ナル思想ヲ持テ、又乙ハ綜合的ノ物ヲ遠觀スルト云フヤウナ相違ガ自ララ

リマス、是ハ決シテ西洋ハ斯ウデアアル、東洋ハ斯ウデアアルト  
言ッヤウニ考ヘテ、劃然ト之ヲ分解スルコトガ出來ナイケレ  
ドモ、之ヲ區別スルト、自ラ甲乙ノ間ニ思想ノ潮流ト云フモ  
ノヲ異ニシマス、而シテ我ガ國民思想ニハ兩方トモ是ガ織込  
マレテ、益々豐富ナル所ノ精神ヲ作ルト云フコトニナラナク、  
ンケレバナラス、併ナガラ殊ニ久シイ年代ノ間、我ガ國民思  
想ヲ形造ル上ニ最モ重大ナル要素ヲ造リ來タ哲學、文學、  
道德ニ深キ關係ヲ持ッテ居ル是等ノ思想ヲ、忽チ付スルコ  
トハ出來ヌ、併ナガラ段々、此點ニ於テ十分ナル事ハ能ハナ  
イヤウナ點モアリマスカラ、本案ノ如キハ最モ其時弊ヲ矯正  
シ、又時機ニ適シタル所ノ考デアアル、斯様ニ考ヘマシテ之ヲ  
贊成致シタイト考ヘマス、大體是ダケヲ申シマス

○山田委員 支那ト日本トハ、申ス迄モナク唇齒輔車ノ  
關係ガアリマシテ、政治的ニモ精神的ニモ將來十分ノ諒解  
ヲシテ、東洋ノ永遠ノ平和發展ヲ期セナケレバナラスト思ヒ  
マス、然ルニ言葉デアリマス、此言葉ガ支那語ト云フモノヲ  
日本人ガ了解シテ居ル者ガ少ナイ、ソレガ爲ニ兩國人ヲ意  
思ノ疎通ト云フコトガ甚ダ不十分デアリマス、支那ハ參リマ  
シテモ、漸クニ東亞同文書院ノ出身者、或ハ永ク在留シテ  
居ル居留民或ハ支那人デ日本へ留學シテ居ル人ノ通譯ニ  
依ッテ多クノ人ガ其說ヲ吐ク位ノコトデ、若シ此支那語ヲ日  
本ノ中等學校以上ノ所ニ於テ、必修科ト行カナケレバ隨意  
科トシテモ御加ヘニナル御考ヘナイカ、殆下英語ガ世界の通  
用語ニナラ、英語ヲ活セバ世界ニ通用スルヤウニ支那語ヲ  
覺エレバ意思ノ疏通ガ出來マス、ソレガ出來ナケレバ將來精  
神の二兩國ガ一致シテ、東洋ノ平和ヲ圖ルコトガ困難ダラ  
ウト思ヒマス、此點ニ付テ當局ニ於キマシテハ、支那語ヲ學  
校ノ科目ノ中ニ近キ、將來ニ於テ御加ヘニナル御考デアアル  
デアリマセウカ、私ハ是非共サウ云フ必要ガアルト感ズルノデ  
アリマスガ、如何デアリマスカ

○赤司政府委員 只今ノ御尋ハ中學校ニ於キマス支那  
語ノ問題デアリマシテ、支那語ヲ中學校ニ於テ隨意科目ト  
シテデモ宜イガ、教授スル途ヲ開ク考デアアルカ、斯ウ云フ御  
尋デアリマス、此中學校ニ於キマス外國語ノ問題ニ付キ  
マシテハ、實ハ色々是ハ私共ノ方ニ於キマシテ研究ヲ致シテ  
居リマス問題デアリマス、宛ニ角或ル中等學校ニ於キマシ  
テ一ツノ學科目ヲ置キマス際ニハ、先ツ豫メ是ガ教員トナ  
ルベキ人ヲ考ヘテ參ラナケレバナラスデアリマス、即チ假ニ  
支那語ヲ入レルト致シマスルト、支那語ノ適當ナル教官ガ  
アルヤ否ヤ、又サウ云フ人ノ供給ガ相當供給シ得ル見込ガ  
アルヤ否ヤト云フヤウナ點ヲ研究致シタ後デナケレバ、中  
實施ガ困難デアリマス、只今御話ニナリマシタ點ニ付キマシ  
テハ、最早數年前ヨリ是等ノ御意見ナドヲ私共同テ居ルノ

デゴザイマシテ、是等ノ點ニ付キマシテハ只今研究ヲ致シテ  
居ルノデアリマス、併シマダ今日ノ所ニ於キマシテ之ヲ隨意  
科トシテ入レルヤ否ヤト云フコトヲ明瞭ニ御答致シマスル程  
度ニハ進シテ居ラヌデアリマス、併シ先ツ只今ノ希望或ル程  
考ダケト致シマシテ、是ハ將來ドウナリマスカ、何カ目ヲ申  
上ダケル譯ニ參ラヌデアリマスガ、將來隨意科トシテ位  
ハ、何カ途ヲ開イテ見タイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、併シ是  
ハ他ノ中學校ノ全體ノ學科編成デ、何處ヲ減ラサナケレバ  
ナラヌト云フ問題トモ牽聯シテ居リマスカラ、是等ノ點ニ付  
テハ只今確ニ致シマスト云フヤウナ的確ナル御答ハ致スコト  
ガ困難デアリマス、ドウカ左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○山田委員 本案ニ付キマシテハ無論贊成デアリマスガ、  
只今當局ニ御尋シタ事ガ、漢學振興ニ付テハ關係シテ居ル  
ト思ヒマスカラ、當局ニ此希望ヲ御採用ニナランコトヲ希望  
致シマシテ、本案ニ贊成致シマス

○吉良委員 先刻委員長ヨリ詳細ニ本案ノ經過及其目  
的ニ付テハ御述ニナリマシタ、無論私共モ重大ナル問題トシ  
テ、多年斯ウ云フ事ヲ適當ナル方法ニ依ッテ實效ヲ奏スルコ  
トヲ切望シテ已マヌ者デアリマス、最早今日ニ於テ漢學振  
興ナドト云フ時代デアリマシテハ、私共ノ考方ハ極テ舊  
ルト云フコトハ承テ居リマスケレドモ、私共ノ考方ハ極テ舊  
ルト云フコトハ存ジマセウカ、舊クナイト思フ、西洋ノ文物ノ實  
ニ驚クベキモノデアルト云フコトハ、吾々ハ深ク外國語ノ  
總テニ付テ熟達スルコトモ出來ズ、僅ニ英語ヲ少々ヤリマシ  
タヤウナ位デ、ソレモ精通ハシテ居ラナイ、甚ダ今日自ラ顧ミ  
テ愧ヅルノデアリマスガ、隨分西洋ニ於テ古クカラ發達シテ  
今日ニ參テ居ル所ノ文物ト云フモノハ、頗ル見ルベキモノガ  
アリ、又特ニ物質文明ト云フ點ニ至リマシテハ、遺憾ナガラ  
到底彼ノ歐羅巴諸國ニハ後塵ヲ拜スルコトモ出來ヌ、向フ  
ハ飛行機デヤルノガ、我國ハ牛歩遲々ノ觀ガアル、是ハ私甚  
ダ遺憾ト思フ、大ニ我が短ヲ補フニハ、其物質文明ヲ採用ス  
ルコトガ必要デアルト云フノデ、既ニ維新以來其大方針ニ  
依ッテ、教育ノ如キモ總テノ方面ニ向テ西洋文明ノ長所ヲ  
御採用ニナシテ、現ニ各般ノ學校ニ於テモ主トシテ西洋文物  
ノ長所ヲ御採用ニナシテ居リマスノデ、是ハ多々益々盛ニ西  
洋文物ノ長所ヲ我國ニ取入レル必要ガアルト云フコトヲ確  
信致シマス、然ルニ近來ニ至ッテ見マスルト、何分漢學ナルモ  
ノハ陳腐迂遠ノ學デアアル、或ハ不急無用ノ學デアアル、徒ニ文  
字ガ多クシテ、其總數ノ如キ十三万或ハ十六万モアルト云  
フヤウニ、文字ガ多クアッテ厄介ナモノデアアル、斯ノ如キモノハ  
今日ニ於テハ寧ろ廢滅ニ屬サセテ、羅馬字若クハ假名ノ會  
ヲ起シテ、サウ云フモノヲ採用シテ、極テ通俗ナ國民多數ガ  
學問ヲ易イ方針ヲ執ラナケレバナラスト云フヤウナコトモ、

亦大家ニ依ッテ唱道セラレテ居ル、是モ一理アルトハ考ヘマ  
ス、漢字ト云フコトヲ申シマスルト、何カ漢土ノ學ヲ我國ニ直  
ニ採用シテ我國ニハ一定ノ學ナクシテ、彼カラ習フモノヲ其  
儘日本人ガ採用シテ居ルノハ、殘念ナヤウデアアルケレドモ、今  
日ハ既ニ漢學ナルモノハ日本學デアラ、立派ナ日本ノ歴  
史、日本ノ文物、日本ノ教育、風俗、習慣、實ニ東洋方面ニ於  
テハ容易ニ他國ノ追隨ヲ許サヌ程ノ美ナル風ヲ作ッタルハ、  
主トシテ此學問ノ發達進步ニ因ルコト、思ヒマス、然ルニ近  
來ニ至ッテ、歐米文物ノ精華ヲ我國ニ取入レルト云フコトニ  
急ナルガ爲ニ、遂ニ本家本元ノ本體、土臺根本精神タル文  
學ノ研究ガ御留守ニナラ傾ガアル、是ハ私ノ見方ガ誤ッテ  
居ルト致シマスレバ致方ガナイ事デアリマスケレドモ、サウ云  
フヤウニ私ノ頭腦デハ解スル、是ハ質問トモ付カヌヤウナ事  
デアリマスケレドモ、少シ長クナリマスケレドモ、五分間位デア  
リマスカラ、御辛抱ヲ願ヒマスガ、丁度支那ノ戴益ト云フ人  
ガ詠ジタ詩ガ、最モ今日日本人ノ現狀ニ當符ッテ居ル、誰モ  
知ッテ居ル詩デアリマスガ、盡日春ヲ尋ネテ春ヲ得ズ、芒鞋踏  
遍シ隴頭ノ雲、歸來偶、梅花ノ下ヲ過グレバ、春ハ枝頭ニ在ッ  
テ已ニ十分ト云フ詩ガアリマス、一寸面白イ詩デ、婦人ノ作ッ  
モノトシテハ名吟デアルト思フ、日本ノ現狀ガサウデハナイカト  
思フ、ドウモ日本ニハ餘リ立派ナ文學モナク困ッタ事デアルト  
云フコトハ、盡日春ヲ尋ネテ春ヲ得ズ、草鞋ヲ踏破ルマデ春  
ノ高原地帯ノ何處ニカ百花妍ヲ開ハス美ナルモノガアリ  
セヌカト云フノデ、東西ニ逍遙シ、爲ニ自分ノ草鞋ガ破レル  
程隴頭ノ雲ヲ踏シ、サウシテ草臥レ果テ、歸ッテ來テ自分  
ノ茅屋附近ニ來タ、歸リ來テ偶、梅花ノ下ヲ過グレバ、春  
ハ枝頭ニ在ッテ已ニ十分デアアル、梅ノ花ガ一輪見エテ居ル、  
ア此處ニ春ガ在ッタルデアルト云フヤウナ斯ウ云フ感ガアル、  
文部省ノ留學生ヲ御派遣ニナルコトモ、私ハ其統計ハ存ジ  
マセウカ、明治維新以來殆ド何万人デアラウト思フ、サウシ  
テ各種各様ノ方面ニ向ッテ、隨分西洋文物ノ長所ヲ御取入  
ニナシテ、今日デハ驚クベク我國ノ物質文明モ進シタ事  
デア、誠ニ國民トシテ喜ビニ堪ヘヌ事デアアル、併ナガラ精神の文  
明、即チ主觀的、内面的人間道德ノ本質ト云フ方ハ、決シ  
テ西洋ノ基督教國ナドニ學ブ必要ハナイ、我國ニ於テハ實  
ニ他ノ追隨ヲ許サヌ位ノ精神の文明ヲ承繼イデ來テ、實ニ  
美ナル國體ヲ成シ、美ナル國風ヲ成シ、古來床シイ國柄デ  
アッテ、西洋ノヤウナ、殘忍ナ、陰險ナ、唯、個人ノ權利ヲ極端  
ニ主張スルヤウナ厭ラシイ、私ハ之ヲ始終西洋ノ道德主義ハ  
一寸言葉ハ惡イカモ知レマセウカ、反抗的若クハ欲求  
的ノ主義ノ道德ハナイカ、サウ云フ風ナ主義ヲ極端ニ發  
露シタ社會デアアル、斯ウ云フヤウニ觀テ居ル我國ハ絕對服從  
デアアル、斯ウ云フ絕對謙讓ノ美德ガアル、治者ニ向ッテ反抗  
シテ、強イテ其治者ノ權利ヲ奪リ取ルトカ云フヤウナコトハ、

甚ダ慎マナケレバナラヌト教ヘテ居ル、ソレカラ又治者、即テ政治家ガ大ニ人民ヲ壓抑シテ、貪婪飽クナキ事ヲヤツト云フ事例ハ甚ダ少イ、治者モ大ニ民ヲ治ムル上ニ、洵ニ仁政ヲ以テ政ヲシテ來テ、實ニ上下相和シテ、春風面ヲ打ツカ如キ和氣霽々ノ間ニ、我國ノ國運ガ今日ノ如クニ成來ツタモノト思フテ居ル、ソレヲ歐羅巴文明ヲ採ルノハ宜カクツケレドモ、其採ルニ急ニシテ自家ノ寶藏ヲ忘レテ、他ノ「チーゾ」ヲヤウナ臭イモノガ旨クテ堪マラヌト云フヤウナ風ニ、今日事實ナデ來テ、徒ニ新シカクテ、歐羅巴ノ糟粕ヲ嘗メテ、今日行ウテハイケヌ、或ハ行ウテハ我國ノ害ニナルヤウナモノヲ、之ヲ是非我國ニヤラシケレバナラヌト云フヤウナ風ニ論セラレテ居ル所ノ博士、大家、學者ガアル、實ニ私共ハドウ考ヘテモ遺憾デアアル、一寸申スト云フト、世上ニ近來大流行ニナツテ居ル、解放トカ、改造トカ云フ雜誌ヲ見ルト云フト、餘程西洋ノ文物ヲ御研究ニナツタ新シイ、新シイ思想カハ知リマセヌケレドモ、大體ソレヲ日本文ヲ組合スニ要スル所ノ漢學ノ知識ト云フモノガ、殆ド御有りナサルカ否ヤヲ疑ハザルヲ得ヌヤウナ御方ト見ルノデス、何故カ薩張支脈其用ヲ得テ居ラヌト云フヤウナ論文ヲ書イテ居ル先生方ガ、是ハ先生方ノ名ヲ圖シテ他ノ者ガ作ツタノカ知レマセヌケレドモ、實ニ私ハ残念ニ思フ、ソレレ私共ハ其意味ニ於テ此漢學ナルモノハ決シテ古クモナシ、又今日ニ於テ之ヲ積極的ニオヤリ下サランケレバ、私ハ何時モサウ申シマス、例ヘバ近ク青山ノ墓所、或ハ天王寺ノ墓ニ參テ見ルト、明治時代ニ御逝去ニナツタ所ノ大家、政治家、軍人ノ有名ナル方々ノ墓碑ガアルガ、ソレガモウ今ノ人デハ容易ニ讀メナイ、吾々モ其中ニ讀メヌノガ少々ハアリマスガ、失禮ナカラ吾々ハ之ヲ讀ムコトハ餘リ困難トセヌデアリマスガ、今ノ學士ト云フ帝大ヲ出タト云フ人々ガ、アレハ一通讀ミ得ナイト云フニ至ツテハ、私ハ驚カザルヲ得ヌ、實ニ遺憾ニ堪ヘヌ、ソレナ石碑位ナモノヲ讀ム必要ハナイ、石碑讀ミ、二人間ガ生レタノデハナイト言ハレ、ハソレマデ、アリマスケレドモ、石碑位ノモノガ讀メヌコトニナレバ、漢字ヲ以テ傳ヘタ大文學ノ大精神ハ殆ド知ラズシテ済ム、又ソレヲ知リ得ナクテ其儘ニナルト云フヤウナ感ヲ懷カザルヲ得ヌデアリマス、又此漢文ニ於テ傳ヘラレタ所ノ大精神ハ、主ニ儒教若クハ日本ノ神道ニ關スル文學ニ至ツテモ、是デ以テ傳ヘラレテ居ル、又佛敎ノ如キモ中ニ高遠微妙ナモノデアリマスケレドモ、其中ニ含マレテ居ル中ニハ、甚ダ遺憾ナカラ取ルニ足ラヌ說モアルデアラウト思ヒマスケレドモ、是ハ我國ニ漢文ヲ以テ傳ヘタ所ノ大藏經若クハ續大藏經、其他有名ナル御方ガ御選述ニナツタ所ノ尊ブヘキ經律論ノ纂疏ガアル、ソレニ註釋ヲ施シタモノハ多ク漢文デ大方今日傳テ居ル、ソレモ今日ハ無學ノ人ガ多ク

テ之ヲ棒讀ミ、讀得ルガ、本當ニ解釋ガ出來ナイ位ニナツテ居ル、幸ニ大家ガマダ少々現存サレル爲ニ、其真髓ノ幾分ヲ窺ヒ得ルデアリマス、此佛敎文學ノ如キモ我が日本ニ於テ傳ハツテ、殆ド大乘佛敎ノ本源本元ハ日本デアルト云フコトハ申ス迄モナイ、獨逸ノドモ近來ハ頗ル大家ガ之ヲ研究サレテ居ルラシイ、又ソレヨリズト前ニ英國ノ如キ國デハ、牛津大學ナドデハ「マックスミユラー」博士ナドト云フ梵文學ノ大家ガアツテ、ソレニ就テ我國ノ南條支那博士トカ、高楠博士ナドモ、此梵文學ヲ御研究ニナツタ大家モ出マシタガ、此梵文學ガ既ニ容易ナラヌムツカシイモノデアリマシテ、此梵文ニ於ケル大藏經ト云フモノガ、殆ド今日傳ヘテ居ラヌ、西藏ニハ傳ハテ居ルサウデアリマスガ、ソレハ見ルコトモ出來ナイ、佛敎思想ナドヲ見テモ、八万四千ノ大法門ガアツテ容易ナラヌ大文學デ、是ハ私ハ是非日本ニ於テ此花ヲ開カセ、又將來是ハ誇ルベキ文學トナリ得ルモノデアルト考ヘテ居ル、是モ漢文ニ依テ傳ヘラレテ居ル、又私共嘗テ支那ニ行キマシテ、支那ノ康ノ時代ニ於ケル博士、大家、學者ヲ集メラレテ作ラレタト云フ四庫全書ノ如キ、是ハ私ガ奉天ニ參テ文書閣デ調べタ時ニ寫本デアリマシタガ、其文字ノ實ニ立派ニシテ、其書卷ノ實ニ驚クベキモノデアルト云フコトナドニ私ハ敬服シタ、其中ニ含マレテ居ル所ハ各様ノ文字ノ精華ヲ集メラレタモノデ、此四庫全書ナドハ東洋ノ最モ誇ルベキ文字デアラウト思フ、併シ是ナドハ即チ本家本元ノ書物デアリマスカラ、全く漢文ニ相違ナイ、恐クハ斯様ナモノヲ今日日本當ニ讀ミ得ル博士、大家ガ、我國デモドレ程アルデアラウカ、併シ幸ニシテ今日ハマダ大家ガ我國ニ於テモ現存サレテ居ル、此際ニ於テ是非之ヲ具體的ニ實現致シマシテ、廣ク總テノ人ニ此漢文趣味ヲ持タセルト云フコトハ、事實不可能ノ事カハ存ジマセヌガ、是非々々之ヲ保存シテ、サウシテ盛シナラシムルト云フコトハ、私ハ必要デアルト思ヒマス、ソコデ是カラガ質問ニナリマスガ、ドウモ近來デハ私ノ推測ガ誤ツテ居ルカハ知レマセヌケレドモ、宛ニ角人間ノ一番必要ナ教育ヲ受ケル時代ハ、即チ國民教育ヲ受ケテソレヨリ上ノ學校ニ這入ル、即チ中學時代、中學ハ高等普通學ヲ修ムル所デアリマシテ、國民トシテ先ヅ中堅人物ヲ拵ヘル所ノ學校ト思ヒマスガ、此中學ニ於テ現在漢文ト云フモノノ時間、國語、漢文ト云フモノニ對シテ重キヲ置カレテ居ラレバ、ソレヤデアリマスケレドモ、其實中學ノ漢文ナリ、漢文科ナルモノハ、洵ニ私ハ遺憾ニ堪ヘヌモノデアツテ、其教科書ノ如キモ殆ド見ルニ足ルモノデナイ、サウシテ又何處ノ中學ニ致シマシテモ、漢文ト云フコトニ實ハモウ少シ重キヲ置イテ居ラナケレバナラヌノニ、重キヲ置イテ居ラヌデアリマス、ソレハ私ノ觀察ガ誤ツテ居ルト致シマスレバ致方ガアリマセヌ

ケレドモ、此國語、漢文ト云フモノヨリモ、英語ト云フモノニ全力ヲ盡シテ居リマス、然ラバソレヨリ下ノ程度ノ學校ニ於テ、稍漢字ヲ了解シ得ルダケノ素養ガ出來テ居ルカト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、甚ダ疑ハシイ、全體此中學校ヲ卒業致シマシタ人ノ手紙、其他文章ヲ書イタモノヲ見テ見マスルト云フト、實ニ其知識ノ淺薄ニシテ嘘字ガ山ノ如シト云ウツモ宜シイ、是ニ於テ漢學ト云フモノハ弊ガアツテ、斯様ナムツカシイモノデアルカ、詰ラヌモノデアルカ、ソレレ此漢字制限ヲシナケレバナラヌト云フ論ニ到ルカハ知リマセヌケレドモ、是ハ今少シク意ヲ用ヒレバ、今少シク漢學ノ趣味ヲ養成シ得ルト私ハ思ヒマスケレドモ、教授ノ上ニ於テモ英語ノ先生ハ各中學校ニ於テ持テ、居リマスケレドモ、國語、漢文ノ先生ト云フモノハ、比較的劣等ト申シテハ相濟マヌケレドモ、ドウモ重要視サレテ居ナイ觀ガアル、サウシテ其上ニ申スノモ漢字ノ必要ナシトカ、餘リ重キヲ置ク必要ナシ、ソレダケノ餘力ガアレバ英語ニ集中シナケレバナラヌ、或ハ數學ニ集中シナケレバナラヌト云フヤウナ風ニ、今ノ空氣ガ流レテ來テ居ルト思フデアリマス、勿論手紙ヲ書ク爲ニ中學ヲ卒業スルモノデアリマス、中學ヲ卒業シタ人ノ手紙ガ實ニ讀ム氣ニモナレヌ位デアアル、國語、漢文ニ於テ教ヘラレタ所ノ道德的情操ト云フヤウナモノハアルカト云フニ、ソレハ全然無イ、是ハ國語、漢文ニ於テ道德的趣味ヲ吹込ムモノデアリマス、ソレハ別段ナ科目ガアリマシテ、修身科ガアリマスケレドモ、修身ト云フモノノナイ時分デアルズト明治ノ初年ノ頃ハ、矢張高等中學ニ於キマシテモ論語ナドト云フモノヲ、其儘修身科ニ用ヒラレテ居タヤウデアリマスガ、近來サウ云フモノハ御廢止ニナツタヤウデアリマス、是ハ今少シク此漢文趣味ト云フモノニ重キヲ置イテ、中學課程ナドモ各科ノ御按排ヲ爲サレテハ、如何ナモノデアラウカ、然ラザレバドウモ此儒敎ニ教ヘラレタ所ノ論理道德ノ大本ニ暗イ爲ニ、今ノ中學校ヲ卒業シタ人ナドハ、先ヅ悉クトハ極論致シマセヌケレドモ、親ニ孝行ト云フヤウナ事ハ考ヘテ居ナイ、甚ダシキハ學校ノ職員、校長以下諸先生ニ向ツテ、大抵ハ陰口ヲ言フノミナラズ、諱名ヲ付ケ、惡罵ヲシ、自分ノ日々教授ヲ受ケル所ノ先生ニ向ツテ、歸リニハ大抵惡口ヲ言ウテ歸ル、或ハ諱名ヲ付ケテ、聞クニ堪ヘヌ先生ニ惡イ諱名ヲ付ケテ居ル、ソレデアリマスカラ師道ト云フモノガ更ニ行ハレテ居ラヌカラシテ、習フニハ習ウテモ、何等其智徳ヲ進メテ、純然タル人トナルト云フ積リデ學問ヤルノカ、ヤラヌノカ知リマセヌケレドモ、出來テ來タ中學ノ卒業生ト云フ者ガ不眞面目ナ者デアツテ、實ハ驚キ入ツタ人物カ多イデアリマス、悉ク不眞面目デアルトハ申上ゲマセヌケレドモ、ドウモサウ云フヤウニ思ヒマス、今一層此中學校ノ課程ナドニ於キマシテ漢

文ノ素養、漢字ヲ以テ教ヘル事ニ權威アリシメルヤウニオヤリニナル譯ニハイカナイデアリマセウカ、又サウ云フ必要ヲ御認メニナラヌノカ、勿論漢文ニモ中ニ弊ガアルトハ私思ヒマス、此吾々ガ幼少ノ時分ニ、何か譯ノ分ラナクカモノガアリマスガ、彼ノ文選ノ如キ、駢儷體ノ文章ニ四字ヲ以テ、百花爛漫ト云フヤウニムツカシイ文字ヲ並ベテ、字ヲ覺ヘル爲ニ作ラレタモノデアリマセウガ、今日斯ナモノヲ捨クル必要ハ更ニ無イト思ヒマスガ、ドウシテモ今日デハ洵ニ漢文ノ知識ガ一般ニ乏シクナテ、今新聞雜誌等ニ間違テ無イト皆三認メラレテ居ル用語デモ、其實間違ウテ居ル事ガアル、嗤フベキ噴飯ニ堪ヘヌ事ガアル、堂々タル東京ノ大新聞ニデモ、大演説ノ事ニ對シテ長廣舌、長廣舌ナドト云フコトガ書イテアル、長廣舌ナドト云フ文句ハ何處カラ御引出シナクカ、是ハ佛教ノ經論ニ釋尊ノ演説ヲ廣長舌、長廣舌ト云フコトガアルガ、是カラ出タモノト思ヒマス、此出典ヲ知ラヌ爲ニ、堂々タル大新聞ニ長廣舌ト書イテアリマス、ソレハ長廣舌デモ廣長舌デモ構ハヌト言フナラバソレマデ、アル先ヅサウ云フ類ハ山ノ如クデアリマス、ソノナ故事來歴ヲ今日主張スル時代デモアリマセウケレドモ、ドウシテモ茲ニ少シク中學ノ課程ナドモ漢文ヲ以テ吹込ム、例ヘバ吾々ガ何處ノ學校ニ行キマシテモ、彼ノ忠ト孝ト云フ文字ハ大幅ヲ掛ケルヤウニナテ居リマス、彼ノ文字ニ接シテ刺刺ニ於テ、吾々ハ直ニ嚴肅ナラザルヘカラス、眞面目ナラザルヘカラスト云フコトガズト頭ニ浮イテ來ル、頭ニ其刺刺、即チ其講堂ニ居ル中ニハ不眞面目デアルトカ、不都合ノ事ハ出來ナイ、彼ノ文字ヲ見レバサウ云フヤウナ感ヲ起スノデアリマス、吾々ハ幼少ノ時分ニ漢學塾ニ在リテ、先生カラ論語ノ講義ヲ聽イタ時ト今日ハ變ラヌノデアリマス、ソレハ非常ニ效果ガアツタ私ハ思ヒマス、今日學問ノ切實ヲスル先生モアリマセウケレドモ、又生徒ガ講義ヲ聽キ教授ヲ受ケテモ、ドウモ敬虔ノ念、是ハ洵ニ尊敬スベキ師デアラカラ、此教ヲ受ケル所ノ先生ニ向テハ、吾々モ絕對ニ服從ノ念ヲ持テ、先生ノ權威アル教授ヲ受ケテ、吾々ハ一ツ立派ノ善良ナ人間トナラナケレバナラヌガ、サウ云フヤウナ心持ニナテ居ラス、ポットシタ散漫ナ心ヲ持テ取扱ウテ居ルヤウチ觀ガアルノデアリマス、實ニ今日ニ於テハ非常ナル教育ガ進ンデ居ル、教育ガ進ンデ居ルニ違ヒアリマセウガ、第一行ヒガ惡イ、延テハ此綱紀頹廢ト云フ問題ナドヲ議會ナドデモ屢々、御叫ビニナルケレドモ、其綱紀頹廢ヲ御叫ビニナル御自身モ、餘リ綱紀ガ整ウテ居ラヌト思フ、是ハ洵ニドウモ私共ハ殘念ニ堪ヘヌノデアリマス、サウ云フ事ヲ申シマス上ニ云フト、洵ニ舊イト言フケレドモ、舊イト言フテモドウモサウ信ズル、今ノ新シカリノ人が間違ウテ居ルカ、ソレガ宜イノカ存ジマセウケレドモ、是ハドウモ漢文學

デ少シク人間ヲ堅ク、忠孝節義ノ念ヲ吹込ムト云フコトガ、今日現下ノ思想界、現下ノ教育界、現下ノ國家社會ヲ美化スルト云フコトニ付テ、此漢文ニ於テ傳ヘラレタル所ノ眞精神ヲ、ドウシテモ今一層深く知ラシメナケレバナラヌト思フノデアリマス、併ナガラソノ事ハ頑愚ナル老耄ノ言ウ事デアツテ、最早現代ニ於テ左様ナ文字ナドト云フコトハ、餘リ研究シ、保存シ、ソレヲ盛ニスル必要ナシト云フ御考デハナイノデアリマセウケレドモ、ドウモ私ハ現在中學アタリノ實情ヲ考ヘテ見マスノニ、甚ダ殘念ニ考ヘマスガ、是ハ澤山ノ字ヲ教ヘテ青年子弟ノ腦髓ヲ苦シメル必要ハ無イト思ヒマスケレドモ、何等カ今少シク漢文ト云フモノヲ能ク理解セシムルヤウニ、一ツ文部省ノ方デモ折角サウ云フ方針ニオヤリニナル譯ニ行カヌモノデアリマセウカ、私ハ甚ダ斯ウ云フヤウナ文教ノ上ニ付テ彼此申述ヘル素養モ無ク、資格モ無イ者デアリマセウケレドモ、私共深くサウ云フヤウニ思フテ居リマス、其點ニ付テ當局ノ御考ヲ承ハリタイ

○赤司政府委員 只今中等學校ノ漢文ノ問題ニ付キマシテ、色々御意見モ御述ニナリマシタシ、又御尋ニモナリマシタノデゴザイマスガ、文部省ト致シマシテ、今日別ニ此漢文ヲ輕シテ居リマスガ、文部省ト考ヘテ頭ナクデアリマス、唯、今日漢文ヲシテ時間ヲ相當持テアルノデアリマスルガ、其程度デアアルカト申シマス、是ハ又幾多改良進步致サナケレバナラヌ點ガ多クアルガラウト考ヘテ居ルノデアリマス、文部省ニ於キマシテハ、只今ノ所決シテ此漢文ニカヲ入レル必要ガ無イト云フヤウナ考ハ少シモ持テ居ラヌノデアリマス、若シ文部省ニ於キマシテサウ云フ考ガアリト致シマスルト、今日最早此學科課程ノ中カラサウ云フモノヲ除カカケレバナラヌ、斯ウ云フ事ニナルノデアリマスガ、ソレハ今日除イテ居ラスノデアリマス、所デ私ガ申ス迄モナイ事デゴザイマスルガ、此物質の方面ノ學問、或ハ一口ニ申シマスレバ科學的方面ノ學問ハ、是ハ場合ニ依リマスルト云フト、殆ド世界共通ト申シテモ宜イノデアリマス、物理學、化學、數學ト云フヤウナモノハ、殆ド其國ノ如何ヲ問ヒマセズ、原理デアアルモノハ原理デアアル、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、之ニ反シマシテ此思想上ノ問題、或ハ文學方面ノ問題ニナリマスル上ニ云フト、今日ニ於キマシテモ其土地、風土、氣候、人情、サウ云フヤウナモノガ違フニ從ヒマシテ、色々ソレノ發達ノ歴史、沿革、サウ云フヤウナ關係カラ、各國色々ニ違テ居ルノデアリマス、從ヒマシテ此文化の方面ノ如キ種類ノ學問ニ付キマシテハ、ドウシテモ此國々ニ依テ多少ノ特徴ガ出來テ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ是等ノ學科、或ハ學問ノ方面ニ於キマシテハ、其國々ニ於キマシテ相當特別ニ

研究スル必要ガアラウト思フノデアリマス、即チ我國デ申シマスレバ、我國ノ歴史ノ如キハ、是ハ日本人ガ相當研究シテ、相當發達ヲサセナケレバナラヌノデアアル、歐羅巴ノ研究ヲヤテ居ル譯ニ行カヌノデアリマス、我國ノ國語、漢文、是等ノモノ、發達ト云フヤウナコトモ、矢張我が國民ガ之ヲ研究シ、是ガ發達向上ヲ圖ラナケレバナラヌ問題デアアラウト考ヘルノデアリマス、宛ニ角斯様ナ方面ニ於キマシテハ、私共ハ之ニ篤學ナル人が出テ參リマシテ、是等ノ人ノ研究ニ依テ、相當是等ノ方面ノ進歩發達ヲサレテ行クコトヲ希望致シテ居リマス、所ガ是ハ歐羅巴カラ直ガ借リテ來ル譯ニ行カナイモノデアリマスカラ、ドウモ其發達ガ遲タリシテ居ルノデアリマス、是等ノ點ニ鑑ミマシテ、先刻文部大臣ヨリモ本案ニ對シテ贊成ノ意ヲ表サレタノデゴザイマスルガ、文部省ナドニ於キマシテハ、此意味ニ於キマシテ漢學獎勵ニ御贊成申上ケル、即チ古典ノ研究ト云フモノハ、ドウシテモ之ヲヤラナケレバナラヌモノデアアル、斯ウ云フ意味合カラ御贊成ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、是ハ或ハ御尋ノ極ク一部分デアリマシタカ知レマセウガ、師道ノ御尋ガゴザイマシタト思ヒマス、是ハ或ル意味カラ申シマス、寧ろ國語、漢文ノ問題デナクシテ、倫理道德ノ方面カト思フノデアリマスガ、是ハ御説ノ通り御維新ニ於キマシテハ、師道ト云フモノガ非常ニ權威アルモノデアアルノデアリマス、ソレト申シスルノハ、宛ニ角此先生トナリマスルト云フト、殆ド總テノ方面ヲ指導シテ行クト云フ立場ニ居ラレマシタカラ、特ニ此師道ガ上、テ居リマシタ、然ル所今日ノ此學校ノ狀況ヲ申シマスルト云フト、學校ノ教員ハ專門ノ學科ニ依テ配置サレテ居ルノデアリマス、即チ修身ノ先生ハ修身、國語ノ先生ハ國語、英語ノ先生ハ英語、斯ウ云フヤウナ方カラ參リマス、隨テ師道ガ前程振ハヌト云フコトハ甚ダ殘念ニ思フノデアリマス、是等ノ點ニ關シマシテハ、矢張我國ノ修身ノ問題ト致シマシテ、何トカ此師道ノ獎勵ト云フヤウナ事ヲヤテ參リタイト云フ考ヲ持テ居ルノデアリマス、併シテ此方面ニ於キマシテモ、又遺憾ナ點ハ多クアルノデゴザイマシテ、將來ニ於キマシテ、是等ノ點ニハ相當注意ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○佐久間委員 本案ハ固ヨリ贊成デアリマスガ、尙ホ本案ヲ提出シテ漢學ノ振興ヲ圖リタイト云フ趣旨ハ、其際ソレノレ説明ニモ演説ニモナテ居リマス、又先程大臣ノ御辯明ヲ承テ大ニ満足シマス、就中此私ナドハ漢學振興ト云フコトヲ思付キマシタ——主張スル所以ノモノハ、古典ノ研究ニ止ラヌノデ、五倫五常ノ道ヲ徹底ノ二國民ニ教ヘタイ、此意味デアリマス、ソレデ忠孝仁義ノ道モ、舜倫道德ノ道モ、西洋ニモアリマセウガ、是ハ明治十五年ニ賜ツテ御勅語ノ一節ニ、西洋ニハ在ルケレドモ、西洋ノハ取ツテ之ヲ日本ニ採用

スルノニハ要ヲ得ヌ、日本ハ日本ノ忠孝彝倫ノ道ガアルカラ  
此子弟ヲ教育スルニ當テモ、諸種ノ學科ノ爲ニ遂ニ之ヲ没  
却スルヤウナ事ガアテハナラヌ、忠孝仁義ノ道ハ大ニ教ヘテ  
行カナケレバナラヌ、其詔勅ガ賜テ居リマス、續イテ申ス迄  
モナイ教育勅語ガ賜テ居ルアリマス、今日此教育勅語  
ニ對スル田舎ノ學校ノ教授振リガ甚ダ遺憾ニ存スル點ガア  
ルノデアリマス、幸ニ大臣ガ御臨席ノコトデアリマスカラ、御  
耳ニ達シテ置キタイト思ヒマスガ、今日此教育勅語ニ對スル  
態度ハ、敬虔度合ヲ見マスニ、甚ダ畏多イ事デアリマスガ、露  
骨ニ申シマスト式ニ御捧讀スルニ過ギナイ、斯ウ云フ狀況デ  
アリマス、唯ニ三大節ニ於テ勅語ヲ捧讀スル、是ハ式ノ道具  
ノヤウニナテ居ラヌカト云フ虞レガアリマス、此學校ト云フ  
コトニ付キマシテモ、今日學校ノ教授振リ總テガ藝學ノ人ヲ  
作ル、藝學アル者ヲ作ルト云フヤウナ傾ガアリマス、人トシテ  
ノ人ヲ作ルト云フヤウナコトニ付テハ、殆ド修身齊家ノ道ニ  
對シテ教授ヲセラレナイ、ソレデス教員トシテモ孝子ヲ作り  
忠臣ヲ作テ所ガ其效果ハ見エヌ、併シ作文ヲ能ク作ル、算  
術ヲ能クヤル、畫ヲ能ク描ク、或ハ「テニス」ヲ能クヤルト云フ  
ヤウノ兒童ヲ作りマスノハ、目前其文藝ガ現レテ、忠孝ノ人  
ヲ作テ所ガ、ソレハ一寸見エマセヌ、學校ノ成績ノ上ニ於テハ  
甚ダ見エ惡イノデアリマスカラ、教員ガ此教授スルニ當テハ  
動モスレバ文藝ニナテシマタ人ヲ作ルト云フコトニ付テ力  
ヲ用ユルコトノ多イ爲ニ、學校ノ一週間ノ時間ニ於テ、修身  
ノ教授ヲスル時間ガ甚ダ僅ガデアル、私ナドガ考ヘマスレ  
ハ、修身ノ時間ヲツクリ置イテ、半數以上ノ時間ヲ置イテ  
サウシテ學校デ其修身齊家ノ中ニ教ヘル禮讓ヲ覺エテ行  
ク、其津ガ學問ニナリ、或ハ手紙ヲ書クモノニナル、漢學モ覺エ  
ト云フ斯ウ云フ事ニナラ宜カラウト思ヒテ居リマス、吾々ガ  
漢學振興ト云フコトハ、何モ漢學ト云フモノ、古典ノ殘シ  
テ置イタ事ヲ調ベテ、是デ満足シヤウト云フノデアリマセ  
ヌ、前申シマシタ五倫五常ノ道禮讓ヲ教ヘテ行カナケレバナ  
ラス、今日人心ノ頹敗ヲ爲シテ居ルト云フコト、或ハ民心ノ  
變動シテ居ルト云フコトノ今日起クノハ、歐洲戰亂ニ依テ  
起クモノノデナイト私ハ思ヒマス、明治維新以來ノ教育ガ學  
術ノニ走テ居ル物質的ニ走テ居ル、ソレガ爲メ今日ノ結  
果ヲ見タ、決シテ今日ノ禍ハ起ルノ日ニ起ルニ非ズ、因テ起  
ル所ガアテ起テ來タノデアラウト思ヒマス、今後一層教育  
ト云フコトニ付テモ、御當局ニ於テモ田舎ノ方ノ狀況ヲ親シ  
ク御觀察下ス、都會ハ別シテマリアマスガ、田舎ガ隨分變  
化シテ來テ居リマスカラ、之ヲ唯々地方長官ノ報告トカ或  
ハ上申トカニ御任セニナラズニ、一々田舎ヲ御覽下サルコト  
ヲ願フテ見タイト思ヒテ居リマス、更ニ申上ゲヌデモ大體ガ分  
テ居リマスカラ、ドウカ其意味ニ於テ漢學ト云フコトモ御配

慮下ス、忠孝ノ道ヲ存スルヤウニ御配慮下ス、戴キタイ  
希望デアリマス、本案ハ進シテ贊成致シマス、今後具體的ニ  
豫算ヲ提出セラレテ、一日モ早く其實ガ現レルコトヲ切ニ希  
望致シマス

○有森委員 教育會ナドデ漢文——漢學ヲ廢スルガ宜イ  
カ、或ハ漢字ヲ制限セヨト云フヤウナ議論ガアリマスガ、吾々  
ハ矢張サウ云フコトニ反對スル人間デア、本案ノ如キモノ  
ヲ贊成スルノデアアル、少シク贊成スルニ付テ意見ヲ述ベマス  
ガ、漢文學ノ方ニ付テ詰リ精神ト云フ事ト、漢文ノ文字ト  
云フコトハ、二ツニ分ケテ一寸話シテ見タイ、精神ト云フ事  
ニ付テハ、大分複雜シテ居ル話ニナテ居クダケレドモ今  
ノ所デ複雜スベキモノノデナカレマイト云フ私ハ考ヲ持テ居  
ル、ソレハ何デアアルカト云フコト、詰リ儒教ト云フモノガ一體  
シナモノデアアルカト云フコト、話グラウト思フ、私ハ此岡谷巖  
ト云フ漢文學ノ學校ニ這入テ居クダケラ、少シク今迄ト違  
タ學問ノ方面デアアルガ、少シ許リ研究シテ見タガ、維新時分  
ニ詰リ儒教ト云フモノノ非常ニ排斥サレタ、即チ神道ト云フ  
モノガ出來タ、ソレハ盛ニスル爲ニ排斥サレタ、儒教ト云フモノガ非  
常ニ排斥サレタ、ソレハ排斥サレル理由ガアルト云フノハ、儒  
教デアルト云フコト、ドウデアアルカト云フ、君君タラズンバ臣臣  
タラズト云フヤウナ風ニ、孟子等ノ議論デアルト云フ、天子  
ガ惡クバ殺シテモ構ハヌ、即チ天子ト云フモノハ徳ヲ以テ  
天子トスルカラ、徳ノ無イ人ハ殺シテモ構ハヌト云フ位ニ、  
極端ニ議論ガ儒教ノ中ニアルガ、是ハ本當ノ儒教デアアルカ  
ト云フコト、吾々ガ調ベテ所ガ是ハ本當ノ儒教、漢學ハ——  
即チ一番世間ノ人ガ惡ク見ル漢學ノ思想デ、儒教ナルモノ  
ハサウデナイ、孔子ノ教ハ何處ニ在ルカト云ヘバ、所謂孔子  
ハ周室ヲ導ビ、周室ガ衰ヘテ最早支那全國ヲ統治スル權力  
ガ無イ、其者ヲ十分ニ尊シテ、王ハ王トシテヤラナケレバナ  
ヌト云フ、孔子ハサウ云フ教ヘヨスル、儒教ノ本體ト云フモノ  
ハ即チ其處ニ在ラ、決シテ王様ガ無道ナ、道ヲ知ラナイ玉  
様ナラバ殺シテモ宜シト云フヤウナ議論ハ、孟子ハシタカ  
知ラスガ、孔子ハソナ議論ハシナイ、ソレカラ支那ノ儒教ノ  
中ニハ、サウ云フ善イ所ト惡イ所トガアテデアリマス、今日  
ノ支那ハドウデアアルカト云ヘバ、其惡イ方ガ行ハレテ居ルノ  
リマシテ、其善イ方ハ、孔子ガ眞ニ本當ノ理想トシテ居ル所  
ハ何處ニ行ハレタカト云ヘバ、日本ニ行ハレタノデアアル、日本  
ニ於テ今日孔子ヲ在ラシメタナラバ、實ニ此理想ガ日本帝  
國ニ於テ行ハレタリト、斯ウ云フノデアラウト思ヒマス、故ニ  
私ハ儒教ナルモノハ、其意味ニ於テ非常ニ尊シテ居ルノデア  
ル、儒教ノ精神ト云フモノハ、今此吾々日本臣民ガ實ニ尊  
バナケレバナラヌ所ノ教育勅語ト云フモノハ、即チ何デアアル  
ト云フ、即チ儒教ノ全精神ヲ竭シタモノデアアル、吾々ガ支

那ノ學問、支那ノ儒教ト云フモノヲ尊ブノハ、即チ言換ヘレ  
バ我國ノ教育勅語ト云フモノヲ尊ブノデアアル、儒教ニドウ  
云フ事ガアルカト云ウテ聞イタナラバ、何人モ此教育勅語以  
外ニ無イト言フニ違ヒナイ、今日本當ニ考ヘタナラバドウ  
アル、ソレデアアルカラ教育勅語ニ反抗スル人ハ日本人民ニ無  
イ、有テラ大騒ギデアアルカラシテ、儒教ヲ尊ブト云フコトハ、  
即チ漢學ナルモノノ本當ノ精神ト云フモノハ今日ノ勅語ニア  
ルノデア、勅語ト云フモノハソレニ書イテアル通りニ、萬國  
ニ涉テモ少シモ悖ラズ、之ヲ古今ニ通ジテモ認ラヌモノデア  
ル、事實ニ於テ儒教ナルモノハ日本帝國ト合一シテ居ルト  
思フ、居ルノデアアルカラシテ、是ハ儒教ノ振興ト云フコトハ、即  
チ漢學ノ振興ト云フコトニ於テハ、何人モ此點ニ付テハ異論  
ハ無クシテ行ハナケレバナラヌモノト、自ラモ信ジテ居ル次第  
デアリマス、ソレカラ漢文字ト云フコトニ付テモ、是モド  
ウモ面倒デアアル、面倒デアアルケレドモ是ハ種々良イ  
點ガアル、ソレハ何デアアルカト云フコト、西洋ノ文字  
ト云フモノハ、即チ發音カラ來テ居ル、耳ノ方カラ  
來テ直ニ現シタモノデアアル、此支那ノ文字ハ、耳ノ方カラ  
形ニ依テ拵ヘタ文字デアアル、ソレデアアルカラ耳デ聽イタヨリ  
モ目デ見タ方ガ良イト同ジク、此東洋ニアル所ノ此漢文字  
ト云フモノハ、非常ニ良イモノデア、是ハ決シテ埋没スベ  
キモノデアハナイ、是ハドウシテモ發達サセナケレバナラヌ、之ヲ  
發達サセルニ付テハ、無用デアアルヤウナ文字ヲ制限スルハ是  
ハ無論必要デアアル、ソレカラ願クハ支那人ト此點ニ付テ一  
致シテ、之ヲ改良スル必要ガアルグラウト思フノデアアル、成ダ  
ケ支那人ノ文字ト、日本人ノ文字ト、要ラヌモノハ廢メデ要  
ルモノダケニシヤウト云フ、或ハ協會的ノモノデモ組織サレテ  
此文字ハ文字デ一ツ發達サセテ行ク必要ガアルグラウト思  
フ、此文字ガ良イガ爲ニ漢學ノ思想ト云フモノノガ生ジテ來  
ル、漢學ヲ讀ム人間ニハ妙ニシカリシタ人ガ出來ル、是ハ唯、  
音聲ダケデナク、形ノ上カラ見テ這入り込シタ所ノ精神デア  
ルト思フ、私ハ漢文字ナルモノハ、文字其物ガ既ニ或ル意味  
ヲ成シテ居テ、サウシテ之ヲ以テ道德修身ノ如キモノヲヤ  
クナラバ、或ハ其實績ガ非常ニ舉ガルト思フ、邦文ナシカノ書  
イテアルモノヲ見ルト非常ニ弱ク感ズル、漢文デ書イタモノヲ  
見ルト、邦文ナドテ書イタモノヨリ餘計ニ感ズルノデアアル、サウ  
云フ風ニ優テ居ル點ガ澤山アルカラシテ、此文字ト云フモノ  
ノハドウシテモ盛ニシテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フ積リデ  
アリマス、サウ云フ風ニ此兩點カラシテ私ハ本案ヲ贊成シテ、  
文部當局ノ御方モ能ク御考ニナテ、サウシテ勿論吾々ノ言  
フ通りニ、即チ教育勅語ニ反セナイヤウニナリマスカラ、此  
問題ニハ御異存ハナイト斯ウ思フノデアリマス

○吉良委員 最早此漢學振興ニ付テノ建議案ト云フコト

第六類第十三號 漢學振興ニ關スル建議案委員會議錄 第一回 大正十二年三月六日 五

ニ付テハ、當路ノ方々モ大ニ是ニハ贊同ノ意ヲ表セラレテ居リマスノデアリテ、然ラバ之ヲ具體化シテ、此漢學振興ノ實績ヲ舉ゲルニハ如何ナル方法ニ依テスルガ宜イカト云フ、具體的ノ問題ニ這入ルノデアリマス考ヘマス、是ハ前ニ議會及前議會、及今期ニ互テ居リマスル大問題デ、又當局ノ方ニ於テカセラレマシテモ、十分ニ御考慮モ御有リニナツタコト、信ジマス、之ヲ直ニ具體化スル機會ト云フモノモ熟シテ來テ居ルノデアラウト信ジマス、其方法順序、及此漢學振興ト云フコトヲ實行スル計畫其他ニ付テハ、何デモ私ノ仄ニ承ル所ニ依リマスレバ、先般此漢學振興ニ熱心ナ大家諸君ガ御協議ニナリマシテ、相當ナ此研究所見タヤウナモノヲ御建ニナルヤウナ運ビニナリテ居ルト云フコトヲ伺ヒマシタガ、其後ノ經過ハ如何ニナリテ居ルノデアリマスカ、又如何ニシテ之ヲ具體化スルヤウナ御考デアルカ、其點ヲ御伺ヒシタイ

○赤司政府委員 御答申上デマスガ、只今御尋ノ問題ハ、確カ一昨年ノ未ダゴザイマシタカ、昨年ノ始メ頃カト記憶致シマスルガ、御話ノ通り色々此精神方面ノ問題ニモ御心配ニナル方々、或ハ漢學ニ素養ヲ御持チニナル方々、サウ云フ各種ノ方ガ御寄リニナリマシテ、最近ニナリマシテ大東文化協會ト云フヤウナモノガ出來マシタ、其處ノ事業ト致シマシテ、此研究所ヲ造リテ、サウシテ漢學ノ研究ヲサレルト云フコトニ段々案ガ進ンデ參テ居ルノデアリマス、其研究所ニ於キマシテハ、極ク大體ノ計畫ヲ申上デマスルト、中學校ノ卒業生ヲ入レマシテ、大凡四箇年間國語及國學、及漢學ニ關スル知識ヲ與ヘル、ソレカラ本科ハ三箇年間デ、其處ノ卒業シマシタ者ガ本科ニ這入ルト云フコトニナル、又此中等學校ニ於キマシテ國語、漢文ノ免許狀ヲ持テ居ル者ハ、直ニ本科ニ這入レルト云フヤウナ計畫ニナリテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテ私共ノ希望ト致シマシテハ、出來マスコトデアリマスレバ、之ニ補助金ヲ出シマシテ、之ヲ獎勵シテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シマシテ具體的ニ下ノ位、或ハドウ云フ風ニスルカト云フ所マデハ、遺憾ナガラ申上デラド譯ニハ行カヌノデアリマスガ、大體サウ云フ方針ヲ進ンダラドウカト云フ希望ヲ持テ居ルヤウナ次第デアリマス

○吉良委員 頗ル結構ナ事デアルト信ジマス、ドウカ免ニモ角ニモ是非此事ハ實現致サレマシテ、我ガ現下ノ狀態ニ於テ、是モ一日モ忽ニスベカラザル時期ト考ヘマスカラ、十分當局ニ於テ御考慮下サレマシテ、速ニ適當ナル方法ニ依テ、是ガ實現ノ緒ニ就キマスルヤウニ御心配下サルコトヲ、切ニ希望致シテ已マヌノデアリマス  
○木下委員長 一寸文部當局ト大藏當局ニ御尋致シマスガ、本案ニ付キマシテ只今文部大臣及次官カラ説明ガアリ、且ツ御贊成デアリマスガ、ソレデ此案ハ御承知ノ通り歴

史ヲ持テ居リ、而シテ現下最モ急務ヲ要スル次第デアリマシテ、事豫算關係ニ屬シマスルコトデハ、隨テ從來ノ事ヲ申シマス、前内閣ニ於キマシテモ、大藏大臣及大藏次官共ニ此經費ヲ出スト云フコトニ付テ、財政窮乏ノ場合ト雖モ特ニ本案ヲ成立セシムル、具體化セシムル費用ハ出サウ、隨テ文部省ガ相當ニ提案ヲシテ來タ時ニハ之ニ應ジヤウト云フコトヲ、委員會ノ席上ニ於テ言明シタ歴史ガアル、換言スレバ政府ハ其當時形手形ヲ出シテ居ルノデアル、現内閣ニ於テハ其手形ヲ御仕拂ニナラナケレバナラヌト云フヤウナ關係ニナリテ居ルカラ、本案ニ付キマシテハ文部省ガ相當ニ豫算ヲ請求セラレタ時分ニハ、大藏當局ニ於キマシテハ、直ニ其請求ニ應ジテ追加豫算トシマス、本議會ニ大至急提案セラレンコトヲ希望致ス次第デアリマス、其點ニ對スル御用意ハ如何デアリマスカ、更メテ伺ヒ置キマス

○田政府委員 只今ノ御尋ニ御答致シマス、大藏省ニ於テハ本建議案ノ趣旨ニ贊成デアリマシテ、又前ノ内閣ノ大藏大臣カラノ行掛リモアリマスノデ、成ベク本案ノ御希望ヲ早ク達スルヤウニ努メタイト思ヒマス、但シ只今文部次官モ御話ニナリマシタ通り、本建議案ニ對スル具體的計畫、尙ハ文部省ニ於キマシテモ調査中デアリマスヤウニ、大藏省ガ文部省ヨリ提案ヲ得マスレバ、内容ヲ調査シテ相當ナル計畫デアリマスレバ、成ベク其要求ニ應ジタイト思ヒマス、但シ幾ラノ金額ヲ出スト云フコトハ、調査ノ上デナイト大藏省トシマスカラ、成ベク實現ニ努メタイト思ヒマス  
○木下委員長 尙ホ御尋シタウゴザイマスガ、文部大臣ノ言明ノ御趣意ト、吾々共提案者ノ趣意ト全然一致ヲ致シテ居ルノデアリマス、就キマシテハ本案ヲ立法府ニ於テ三度提出スルト云フコトハ、國家ニ於テ最モ重大ナル事トシテ三度提案シテ居ルノデアリマス、ソレニハ相當ナ用意モシテ掛テ來テ居リマス、ソレハ數年前カラ努力ニ努力ヲ重ネテ、今ヤ大東文化協會ト申スモノガ、貴衆兩院ノ議員ヲ中心ト致シテ、朝野ニ於ケル所ノ學者、實業家、政治家、有ユル階級ノ人ガ其中ニ網羅セラレテ居ルノミナラス、我國ニ於ケル私學ノ各團體、即チ三島塾、斯文會、關西ニ於テハ藤澤塾、東洋文化學會、其他京都ノ漢學院ト云フヤウナ、全國ニ於ケル私學ノ團體ガ其中ニ網羅セラレテ居ルヤウナ、有力ナ協會ガ出來タノデアリマスカラ、此大東文化協會ニ補助セラレ、ト云フ方針ニ依テ調査セラレ、直ニソレヲ具體化シテ補助ノ方法ヲ講セラレンコトヲ希望スルノデアリマス、是ハ今此處デ申ス迄モゴザイマセヌ事デアリマシテ、既ニ御聞及ビノ事ト思ヒマスガ、此點ニ付テ大藏省モ御認メニナリテ居リマスカ

○田政府委員 只今委員長ノ御話ノ點ハ、大藏省ニ於テモ認メテ居リマシテ、本案ハ貴衆兩院ノ御意思ノ在ル所モ承知致シテ居リマス、又建議案ガ通過致シマシタコトデアリマシタカラ、兩院ノ御希望ハ十分ニ尊重シタイト思ヒテ居リマス  
○吉良委員 洵ニ結構ナ事デアリマシテ、頗ル吾々ノ有難ク感ズル所デアリマスガ、最早是デ殆下此件ニ付テノ御審議ハ濟ンダヤウナ形デアルト考ヘマスガ如何デアリマスカ、今日デオシマヒニナリマスカ  
○木下委員長 モウ一ツ文部大臣ニ希望致シタウゴザイマスガ、斯様ナ成行デアリマスカラ、是非本議會ニ追加豫算トシテ御提案下サルコトヲ希望致シマス  
○鎌田國務大臣 御希望ノ事ハ承知致シマシタ  
○木下委員長 然ラバ御諮リ致シマス、諸君ノ御希望ノ點ハ文部大臣及大藏當局ニ於テ全部容レラレタヤウニ思ヒマス、計畫案ノ大小其他ハ文部當局ニ御任セサル事ニ致シマシテ、本案ハ豫算追加案トナリテ出ルノデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマシテ、是レデ可決確定ト致シマス、此委員會ハ是デ閉會致シマス  
午後四時十二分散會